

甲府警察署協議会 令和5年度第1回定例会議 議事概要

開 催 日	令和5年5月23日（火）
開 催 場 所	甲府警察署大会議室
出 席 者	協議会 会長及び委員 9名 警察署 署長、副署長、課長等 14名
議事概要等	<ol style="list-style-type: none"> 1 甲府警察署協議会委員委嘱状交付 2 令和5年1月～3月の業務推進状況等説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会計課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 遺失物・拾得物の取扱状況 イ 主な支出経費 (2) 警務課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 育児休業取得推進のための面談等の実施 イ 「命の大切さを学ぶ授業」の開催 ウ 警察官採用試験に向けたリクルーター指定式の実施 エ 広聴事案の処理状況 オ 警察安全相談の受理状況 (3) 留置管理課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 収容状況等 イ 留置場内の設備点検等の推進 ウ 留置施設錠前交換及び各所の修繕の実施 (4) 生活安全課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 人身安全関連事案の認知・検挙状況 イ 声掛け事案等の認知、指導・警告状況 ウ 主な犯罪抑止対策 (5) 地域課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 祭典警備実施状況 イ 山岳遭難発生状況・同対策の推進 ウ 諸施策の推進 (6) 刑事第一課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 犯罪発生検挙状況 イ 主要事件検挙状況 ウ 教養、訓練状況 エ 検視取扱状況 (7) 刑事第二課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 知能犯罪の発生状況 イ 告訴・告発対応 ウ 主な事件検挙 (8) 組織犯罪対策課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 電話詐欺被害の発生状況 イ 事件検挙等 ウ 暴力団対策 (9) 交通課関係 <ol style="list-style-type: none"> ア 交通事故発生状況 イ 主な事件検挙 ウ 交通安全対策の実施状況 (10) 警備課関係

- ア 災害対策
- イ 国際テロ対策
- ウ 警護警備の実施

3 業務重点等の諮問及び答申（諮問事項がある場合）

- (1) 諮問事項
令和5年度下半期甲府警察署速度取締り指針について
- (2) 答申
異議なし

4 意見・要望等

- (1) 男性職員の育児休業取得状況について

【回答】

これまでの取得実績では1週間から1ヶ月程度。

- (2) 留置施設のAED整備状況について

【回答】

留置施設内には無いが、警察署に整備されているAEDで対応。

- (3) 人身安全関連事案の認知件数が48件あるが、検挙0件は何故か。

【回答】

相談内容から危険性を判断し、事件化して検挙するか決める。今期は事件化を図る危険性が認められる事案の認知が無かったため。

- (4) 電話詐欺に関し、報道ではフィリピンで逮捕等された者がいるが、甲府署管内で発生した事件に関係していた者はいるのか。

【回答】

現時点で把握していない。

- (5) 山梨県警に麻薬犬はいるのか。

【回答】

山梨県警にはいない。全国的にも一部の県にしか配置は無い状況。

【回答に対する意見】

薬物捜査に有効だと思うので、山梨県警も麻薬犬の運用を検討すべき。

- (6) 検視をやってくれる医師が少なく、検視がなかなか出来ないと聞いたことがあるが如何か。

【回答】

検視を受けてくれる医師は複数いるものの、病院での通常診療等により時間的な制約はあるが、現状問題なく業務を進めることができている。

- (7) 官公署で男性の育児休暇取得者が増えれば民間でも増えると思う。

警察では24時間勤務をしている署員もいて、取得しにくいのではないかと思うが、何人取得しているのか。また心掛けていることはあるか。

【回答】

これまで男性職員の育児休業の取得は消極的であったが現状は改善され、今期は5人取得した。

警察官には交代制勤務の者もいるため、業務の交代要員の確保等を組織で考え、取得し易い環境を整えるよう心掛けています。県警本部の支援制度もあるので、活用することも検討している。

(8) 以前、女性職員が育児休業を取得するのも周りの理解を得るのが大変と聞いた事があるが、現状はどうか。

【回答】

現状では、女性の育児休業の取得は、周囲も理解し問題なく取得している。

(9) 若者の人口が減っているため、職業として警察を選ばない人が増えるのではないかと危惧している。人材確保の為にしていることはあるか。

【回答】

甲府署では、受験を希望したものの受験しなかった者からその理由を聴取したところ、警察の仕事が厳しそう大変そうと思い、不安になって受験しなかったとのことだった。

これを踏まえ、今後は早い段階から個別に警察業務の内容や魅力を正しく理解してもらうため面接を多くするなど継続的な勧奨活動を行うこととした。

また県警として取り組んでいるワークライフバランスの実施、居住制限の撤廃、サテライトオフィスを活用した業務の推進などを具体的に説明していくこととしている。

【回答に対する意見】

警察官の人数が減って困るのは市民。これからも業務の合理化の推進など、人材へのフォローを願いたい。

(10) 「命の大切さを学ぶ授業」はとても良い授業だと思うが、もっと実施回数を増やせないか。

【回答】

講師への謝金や交通費の問題から学校では二の足を踏んでいる状況。被害者支援センターやまなしでは、それらの費用を支出することも出来るようなので、周知して回数を増やしていきたい。

(11) 留置施設の鍵を統一したとのことであるが、必要があってそれなりの数があったと思う。減らして困ることはないのか。

【回答】

施設内の設備の構造上、それぞれに適合する鍵が存在した。例えば30ヶ所のロッカーの扉には30個の鍵が存在するという。これらを一にする、つまりある程度の鍵を統一することで、勤務員の負担が軽減されることとなった。これにより本来業務である被留置者の動静監視を始め、適正処遇を行うことができ、より適切な留置管理業務が図られることとなった。

(12) 飲酒運転の検挙が多い。時季（期）に関係なく年間を通じて多いのか。

【回答】

山梨県は、飲酒運転による事故率で人口10万人当たりの数値が、毎年全国ワースト上位という不名誉な状況で推移している。

甲府署では、管内に繁華街も有していることから、飲酒運転取締りには力を入れている。これと合わせ、飲酒運転を撲滅するための啓発活動や飲食店に対するハンドルキーパーの確保の働きかけへの協力依頼を機会ある毎に実施するなど、運酒運転の根絶に向けた活動を推進している。

(13) 電話詐欺はどのくらい未然に防止した事例があるのか。

また、防止に向けどのような取り組みをしているのか。

【回答】

甲府署管内の未然防止の件数は手元に無いため、次回回

答する。

被害対策の柱として3つあり

- ・ 詐欺の電話を取らせない（メッセージ電話機の貸出等）
- ・ 取っても騙されない（CATVを活用した広報、防犯教室等での啓発活動等）
- ・ 騙されても犯人にお金を渡さない（水際対策、金融機関やコンビニとの連携等）

を推進していくこととしている。

(14) 警察官が交通取締り等を行う際、声の掛け方や説明内容等の対応が良いと違反者の気持ちも変わると思う。これからも応接について指導・教養をお願いしたい。

【回答】

勤務員に対し、違反者の身になって「何が危険で、なぜ取締りが必要なのか」等をきちんと説明出来ることが重要。引き続き丁寧な対応について指導・教養に努めていく。